

＜ 総評 ＞

園名 : モーツアルト保育園

	項目	評価の高いところ	改善すべきところ
I	福祉サービスの基本方針と組織	<p>法人の「愛」「開」「創」の理念を踏まえ、三つの保育目標と四つの保育方針を掲げられ、中・長期計画も、独自のものを作成されています。</p> <p>「福祉QC活動」を取り入れる等、組織としても園長、主任を中心として職員全体が積極的に運営に取り組まれ、園長も管理者としての役割、責任を自覚された上で、十分にその指導力を発揮されていました。</p>	理念、保育方針について、保護者に向け説明はされていましたが、アンケート結果によると理解されていない保護者もいる現状から、より解りやすくする工夫をされればいかがでしょうか。
II	組織の運営管理	<p>経営状況の分析や職員の労務管理は、法人本部で一括管理されていましたが、各事業所においても地域のニーズに合わせた人材に関するプランを確立し、多様な保育サービスにも対応していました。</p> <p>また法人職員の基本姿勢が示された「行動基準書」を基に、職員の質の向上に努められていました。</p>	法人の理念、また保育目標、そして「行動基準書」に示されている組織が求める職員像なども、個別の研修計画を作成される際に関連を持たせればいかがでしょうか。
III	適切な福祉サービスの実施	<p>開園後、まだ数年しか経っていませんが、園としての理念、基本方針を明確に内外に伝え、若い保育士の多い中、園長を初めとし組織として何事にも前向きに取り組んでいる様が十分伺えました。</p> <p>また利用者を尊重し、サービスの質の確保に積極的に取り組み、苦情解決の態勢も整備されており、職員間での周知徹底が成されていました。</p>	第三者評価の結果に基づき課題についての改善策は検討されていましたが、今後必要に応じて改善計画の見直しをされることを期待します。
IV	実施する福祉サービスの内容	<p>保育理念や方針に基づいて保育計画が立てられ、年齢に応じた適切な保育が行われており、利用者の立場にたった様々な取り組みも積極的に行われていました。</p> <p>新しい園舎で生活環境も整備されてはいますが、子ども達がよりくつろいで生活出来るように、乳児室の増築や保育室にコーナーを設けるなどの工夫が見られました。</p>	保育方針に「大切なものを丁寧に育て、個性を大切にする保育」を挙げられているように、今後はさらに個別の援助についての保育計画も検討されてはいかがでしょうか。

項目	評価の高いところ	改善すべきところ
総合所見	<p>「社会福祉法人フジの会」は、京都、神戸市内において高齢者介護、障害者施設など多種の福祉施設を経営され、質の高いサービスを提供する為に法人全体で運営に取り組まれています。</p> <p>その法人としての長年培われてきたノウハウを活かし、モーツアルト保育園は開園3年にも拘らず、待機児童数が多い地域の多様な保育ニーズにも対応され、保護者アンケートからも高い信頼を得ていることが伺えます。</p> <p>第三者評価受審を機に、今後益々、地域の子育て支援の拠点となるような保育園に成長していただくことを期待いたします。</p>	